

## 追 補

ビジネス・キャリア検定試験標準テキスト『経理3級（簿記・財務諸表）』の記載内容につき、会計基準の改正に伴い記述の一部を補足いたします。

### ●（初版）140頁 本文上から5～8行目

#### 〈変更前〉 ② 後入先出法

**後入先出法**とは、後から仕入れた商品が先に払い出されると仮定して、払出単価を決定する方法である。この方法は、価格上昇時には期末棚卸額は低く評価され、売上原価額は高くなる。

#### 〈変更後〉 ② 後入先出法

**後入先出法**とは、後から仕入れた商品が先に払い出されると仮定して、払出単価を決定する方法である。この方法は、価格上昇時には期末棚卸額は低く評価され、売上原価額は高くなる。

【注記】 会計基準の改正で、平成22年4月1日以降開始の事業年度より、棚卸資産の評価方法から後入先出法は選択できなくなりました。

また、次の記述を補足いたします。

### ●（初版）202～203頁 （2）減価償却の記載方法の項の最後

【注記】 会計処理を間接法で行っていても、貸借対照表には減価償却累計額を控除した額のみを表示する場合もある。この場合は、原則として減価償却累計額を注記することとされている。